

《参考資料》

雪印コーヒーの変遷

パッケージの変遷



1963年～

1963年に三角パックで発売された雪印コーヒー牛乳は1970年に500ml紙パック飲料にリニューアルされる。このときから“茶・黄・赤”の「雪印コーヒー」カラーが採用される。

1000ml入り紙パック発売。インスタントコーヒーが主流だった当時、アイスコーヒーは喫茶店で飲むおしゃれな飲み物だった。「雪印コーヒー」もそのイメージにあやかり、しゃれたガラスのイラストを採用した。



1978年～



1989年～



1992年～



1997年～



2002年～



2008年～



2012年～

現行パッケージではミルクとコーヒーのバランスにこだわる発売当初からの「雪印コーヒー」の開発姿勢を表現すべく、ミルクとコーヒーが混ざり合うシズルを採用している。

開発 秘話

★「雪印コーヒー」の歴史は1963（昭和38）年に発売されたテトラパックの「雪印コーヒー牛乳」にさかのぼります。牛乳をもっと身近なものにしたいという思いから当時インスタントコーヒーがお茶の間に普及しはじめたコーヒーに着目してこの商品は開発されました。

★「雪印コーヒー」を象徴する“茶・黄・赤”という色の組み合わせは1970年のパッケージ導入当時、食品としてはかなり斬新（異質）な配色でした。しかし、この大胆な配色はその後の雪印コーヒーのブランド認知に大いに貢献していきます。

★「雪印コーヒー」の風味は“ミルク感を大切にする”という基本は押えながらも時代のニーズに合わせて進化し続けています。熱烈なファンの中にはその微妙な変化も見逃さずに問い合わせをしてくる方々もいます。

55年目の雪印コーヒーファミリー



みんなの雪印コーヒーへ！